

メッセージアウトライン (2)

2015年5月17日(日)

タイトル:「救いの完成」めざして

聖書箇所:ローマ8:18~24

テーマ: ややもすると、「救い」について、イエスを信じて罪赦され天国への約束を与えられたことだと思っている人がいる。一つの側面として間違いとは言えないが、これは、「救い」のスタートラインに立ったことを意味するが、「救い」の完成を意味するものではない。今日の聖書箇所から、クリスチャンに与えられている現在の希望と未来の希望、すなわち「救いの完成」について考えてみる。

はじめに:

聖書が語る「救いの完成」に至るプロセス

- 1) 過去形の「救い」
- 2) 現在進行形の「救い」
- 3) 未来形の「救い」
- 4) 「救いの完成」に至らせる聖霊の働き
- 5) 結論

本論:

1) 過去形の「救い」 新生(義認) 救いの土台

- ① イエス・キリストを信じた人はすでに救われている。(エペソ2:8)
- ② 「新生」は「救い」のはじまりであり、土台である。「新生」なくして成長なし。
- ③ 「新生」した人は、新しい性質を受ける。(Ⅱコリ5:17)
- ④ 真に救われた人(新生した人)は永遠に救われている。(ヨハ5:24)
- ⑤ 信じるとはどういうことか。

2) 現在進行形の「救い」 聖化(クリスチャンの成長の過程)

- ① 「新生」した人は、日々変えられていく。(Ⅱコリント4:16)
 - * 罪の力からの解放。(ローマ6:11)
 - * 神の御目にかなう者へと変えられていく——罪に対して敏感となる。
(Ⅰヨハネ1:6, 9, 10)
 - * この世の力に対抗する。
 - * 霊的成長(キリストに似た者とされていく)
 - * キリストを知る知識が増す。
 - * 聖化は「救い」の完成のために必要なプロセス。

3) 未来形の「救い」 栄化（贖いの完成）

- ① 「新生」した人は、最終的に「復活のからだ」（栄光のからだ）に変えられて、「救い」が完成する。
- ② 「栄化」とはどのような状態か。
 - * 聖化の完成（キリストに似た者とされる）
 - * 罪の性質に支配されることがなくなる。
 - * 完全な知識を得る。（I コリント 13：9～12）
 - * 栄光のからだに復活する（からだ贖われること）

4) 「救いの完成」に至らせる聖霊の働き

- ① 「救い」のスタートから完成に至らせるまでのすべては、聖霊の働きである。
 - * イエスをキリストと信じた時—— I コリント 12：3
 - * 聖化の過程で—— II コリ 3：17～18
 - * 栄化（救いの完成）の保証——エペソ 4：30、ローマ 8：18～23
- ② 「新生」も「聖化」も「栄化」も神の恵みである。
 - * 新生した者がキリストに似た者とされたいという動機——神への愛の応答
- ③ 私たちは日々導いて下さる聖霊に応答する。

結論

「救い号」という列車に乗った人々

主の約束を信じ、クリスチャンの確かな希望を持って、日々の歩みを聖霊に明け渡して着実に歩んでまいりましょう。